

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No.16

マイ・スカイ

2000年12月5日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
副次本知己

2000年(平成12年)11月24日 金曜日

◇ 第1回中学校演劇交流会ヨカタヨ!

人権のこと、差別のこと 芝居通じ理解と交流

藍住で合同発表会



人権劇の発表を通して交流が深められた演劇発表会
＝藍住町の町コミュニティーセンター

中部ブロック中学校演劇交流会(同運営委員会主催)が二十三日、板野郡藍住町奥野の同町コミュニティーセンターで開かれた。人権意識の高揚と演劇活動の拡大を目指して、徳島市、板野、名西両郡の六校から、人権劇などを通して演劇活動している中学生ら約百人が参加した。県内で人権劇の交流会が行われたのは初めて。

1006 中学から「張り合い出る」

中学生による人権劇は県内の多くの学校が取り組んでいる。しかし、文化祭など二度きりの発表で終わるのが普通だった。交流会は、せっかくなので練習してきた劇を他校とともに発表し合うことで、内容を深め、きっかけにするのと活動の拡大につなげるのが狙い。演劇担当の教師らの呼び掛けで企画された。

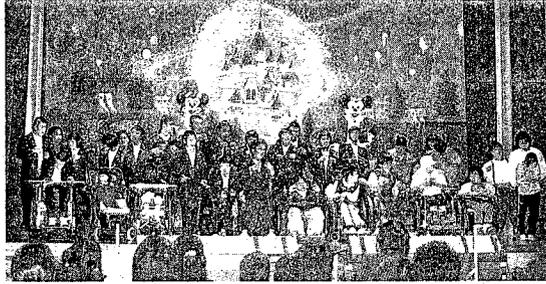
発表されたのは①私の出发点(不動中) ②迷信家族(北井上中) ③EASO NS(板野中) ④力石(石井中) ⑤勇気ある一歩(国府中) ⑥ハッピーバースデー(藍住東中) ⑦の舞台劇やビデオなど六作品。

この日は、各校がさまざまな角度から人権問題を取り上げた劇を上演するなどして、題材は、差別問題に

紹 去る11月23日、前号でも紹介したタイトルの会が行われました。ほぼまる一日かかったのですが、100名を越える参加があり、本当に充実した交流会となりました。コントのようなお笑いいっぱ

いの元気な人権劇や、^{はくしん えんぎ} 迫真の演技
^{ほんかくは} の本格派人権劇、タイムトラベル
するユニークなストーリーの人権
劇など「ああ、こんなにもいろん
^{かんせい} な感性があるんだ……！」と^{かんしん} 感心

苦悩する主人公の心の葛藤
を描いた作品や、迷信やう
わさが差別や誤解を生み出
していることなどが中心。
板野中が発表した作品
は、二十歳の男性主人公
が、アルバイト先の海の家
で、偶然出会った女性に恋
をするが、女性が被差別部
落出身だと聞かされ、思い
悩む物語。中心人物の四人
や裏方など二十人の生徒が
劇づくりに参加した。
参加校の大部分は、生徒
が中心になって、シナリオ
や演出を考えたという。
藍住東中三年の藤原弘一
君（五）は「他校の演技を見
ていると、いろいろ勉強さ
せられるし、負けていたら
ないよ、張り合いも出てく



手話コーラスを交じえた劇が人気を集めた板野
養護学校文化祭—板野町の同校体育館

へ旅行す
が、東京
生徒たち
高等部の
になった
きのこと
に出演で
に音楽祭
演じた。

オリシナル劇
いきいき熱演
板野養護で文化祭
肢体不自由たちが通う
まで九グループが、日三
練習した劇や歌を披露。高
等部の三
十人は
「ディズ
ニー音楽
祭へ行く
う」と題
して、約
二十分の
オリシナ
ル劇を熱
演じた。

「と話していた。
運営委員会は「中学生同
士の住所交換など、交流も
深まったようだ。県内で人
権劇を上演している生徒た
ちの励みになってほしい」
と、交流が一層広がること
を期待している。
板野郡板野町大寺の板野養
護学校（葛佐和代校長、百
十人）で二十三日、文化祭
が開かれた。各クラスが演
劇などの出し物をしたほ
か、会場には、生徒らによ
る書道や図工などの作品が
展示され、訪れた保護者や
卒業生ら約六百人が熱心に
見入っていた。
午前中に行われた表現の
部では、小学部から高等部
まで九グループが、日三
練習した劇や歌を披露。高
等部の三
十人は
「ディズ
ニー音楽
祭へ行く
う」と題
して、約
二十分の
オリシナ
ル劇を熱
演じた。

させられました。

その^{きじ}記事が板野養護学校文化祭の記事と一緒に^の載っていたので、合わせてどうぞご覧ください。

ちなみに、うちの劇もよく^{がんば}頑張ったんですよ！知ってて
ね！

「感性の違いでこれだけ違った劇ができるんだ！役作りにしても、本物の^{やくしや}役者のような演技
ができる中学生もいた。今までは『井の中の蛙』だった。やっぱり視野を広げて交流するこ
とは大切だ！ありがとう！他校のみんな！」

私の感想としてはこんなものかな。では他の人も……。

どの学校もそれぞれ^{そういくふう}創意工夫をこらした劇で^{かんとくかんめい}感動感銘しました。できることなら、そ
れぞれの学校の取り組みをビデオとしてライブラリー等に保管し、^{ほかん} 県民の^{みな}皆さんにも広
くPRし、^{けいはつ} 啓発していくのもいいのではと思いました。また、中部ブロックがこの交流
会の^{はっしんち}発信地として他に広まっていくことを期待しています。ありがとうございました。

各校^{とくしよく}特色があり、大変勉強になりました。同じ部落問題を見るにも、大人の^{してん}視点、

生徒の視点で様々なとらえ方があるのだなと思いました。特に生徒の意見が多く取り入れられている作品は、これからの同和教育を考えるうえで、大変参考になります。部落問題をテレビドラマ風にした作品がありました！障害者差別を 트렌ディード라마にしたテレビ作品はありましたが、部落問題をメジャーにしなければと感じました。迷信についての劇もよくわかり、楽しかったです。ビデオで交流できるかなと思いました、文字を入れたり、音声を別にとったりして、ビデオ作品もよくわかり感動しました。

この他にも、「うちの学校も生徒を連れてくれば良かった」「ビデオより本物の劇の方がいい」「人権のことがよくわかり面白かった」「他の学校の人と交流の時間がほしかった」「後輩にぜひぜひ続けてほしい」といった感想がありました。少しは雰囲気分かってくれたかな？



第1章「大戦への兆し」
第2次世界大戦前 1932-1939



第1章「大戦への兆し」
第2次世界大戦前 1932-1939

第2章「戦渦への挑戦」
第2次世界大戦中 1939-1944



第2章「戦渦への挑戦」
第2次世界大戦中 1939-1944

第3章「戦と平和を探せ」
第2次世界大戦後 第2次世界大戦後 1944-1954



第3章「戦と平和を探せ」
第2次世界大戦後 第2次世界大戦後 1944-1954



第3章「戦と平和を探せ」
第2次世界大戦後 第2次世界大戦後 1944-1954

このたび徳島新聞社では、「愛と平和の21世紀へ〜後世に継ぐ戦場からのメッセージ」と題しロバート・キャパ写真展を開催いたします。本展は、今世紀最高の報道写真家の一人であるロバート・キャパの人間愛あふれる眼差しによって撮られた、20世紀の類いまれな映像の叙事詩ともいべき展覧会です。今世紀の激動の世界史と人間像を、報道写真という表現の中に永遠化させたキャパの勇氣と精神——。戦争と平和の目撃者ロバート・キャパの全生涯を、その代表作によって一望することのできる展覧会です。

ロバート・キャパの写真遺産は約70,000枚のネガで残されていますが、これらの作品を永久保存として残すため、弟のゴネール・キャパ氏（ICP=ニューヨーク国際写真センター創立者）の発案で、937点の決定版が新しくプリントされました。このセットはニューヨークのほか、東京富士美術館にしか保存されていない貴重なものです。

本展では、この東京富士美術館所蔵の決定版コレクションから厳選した代表的な作品318点を、「代表作」10点、第1章「大戦への兆し」130点、第2章「戦渦への挑戦」101点、第3章「戦と平和を探せ」77点の4つのパートに分けて公開。あわせてキャパ初期のカメラ、ポートレートなど4点を特別出品いたします。

20世紀最後期の公開となるこのロバート・キャパ写真展は、彼が生命を賭けて追い求めたヒューマンズムの精神を学ぶ機会となり、21世紀へと伝える人間愛あふれるメッセージとなることでしょう。



ロバート・キャパ 1937年

CAPA's profile

1913年、ハンガリーのブダペストに生まれる。17歳のとき祖国を離れ、ベルリンに出て写真と出会い、パリで写真家として独立。スペイン市民戦争、日中戦争、第2次世界大戦下のヨーロッパ、イスラエル建国時の中東戦争、インドシナ戦争など、5つの歴史的な戦争を取材し、当時の「ライフ」誌などに写真が掲載される。1947年、アメリカルネエアー・ペンソンとともに、写真家集団「マグナム」の創設者の一人となる。1954年5月25日、インドシナ戦線（現ベトナム）の取材中に地雷を踏み、40歳で殉職。



Robert Capa (1913-1954)
Photographer, Magnum
Capa's Photo Agency
Capa's Photo Agency

◇見に行く価値あり! 超おすすめ! めったに見れない! 行かなそんな!! 今行つとかな二度と見れないかも……



「ロバート・キャパ」

この人の名前を知ってる人!

「戦争は、差別が目に見える形で現れた最大の悲劇」とも言われていますが、その戦場をフィルムに収めることを仕事として、その人生を全うした人がロバート・キャパです。戦場の生々しい事実を見ることは、差別の厳しい現実を見ることにつながるでしょう。そしてその中から、生きることの真実を考える良い機会になると思います。

実は私の中で、気にかかっている一つの写真があります。その写真には、下唇をかみしめ、今にも泣きそうでありながら、こぼれ落ちそうな涙をグッとこらえ、必死に何かを見つめている少女が写っています。その少女の瞳の奥に見えるものは……。

本当ならば、全校生徒で見に行きたいくらいですが、そういうわけにもいきません。みなさん、時間をつくってぜひ見に行ってください。20世紀最後の私からのお願いです。



◆12月1日には解放文化展の作品見学, 2日には発表

表・人権コンサートと、「人権文化花盛り」といったところでしょうか。作品も、パーツと見ればどうということはないのですが、じっくり一つ一つを見ていくと、結構味があり、新鮮な発見もできるものです。発表も各校の取り組みの成果が見られたようで、楽しく見ることができました。人権コンサートにしても、ほんまに「おもしろオッチャン」でありながら、「聴かせるところは聴かせる」という感じでしたね。◆今週末10日には午前8:45からお昼頃まで「南公会堂祭り」が南公会堂で、午後1:30から「チャンス・ほんの少しの愛をください」がさくらホールで行われます。今年の冬は雨が多いようですが、例年に比べて暖かそうなので、ぜひ出向いてみてはいかがでしょうか? ◆「南公会堂祭り」では作品展

示や発表、相撲大会、各種食べ物の100円均一バザーなどが、賑やかに行われます。「チャンス・ほんの少しの愛をください」は以前紹介したミュージカルですが、当日は骨髄バンクの集団登録(要予約12/8までTel0120-445-445)も行うそうです。誘い合わせてどうぞ!!

◇ これからの日程 ◇ ☆☆☆ ★★☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

- 110日(日) 南公会堂祭り(8:45~12:00;南公会堂)⇒模擬店もたくさん出ます!小学校の先生方もたくさん来ます!みなさんどう?
- 11日(月)~14日(木) 保護者面談⇒この機会に成績のことだけでなく、生活のことや日頃のこと、いろんなことについて話しましょうね!
- 22日(金) 2学期終業式⇒早いもんやね!!...もう幾つ寝ると、21世紀...

